

「はばたき21相談室」のご案内

四葉草 こころと生きかたなんでも相談

職場・家族・近所など、身近な人間関係のことや、こころのモヤモヤ、イライラなど…ひとりで抱え込まずにご相談ください。女性フェミニスト心理カウンセラーが相談に応じます。

毎週

火曜日・土曜日 午前10時～午後4時まで
水曜日・木曜日 午後5時～9時まで

面接相談（女性のみ）
電話相談（どなたでも）

※火曜日・土曜日は、託児（1歳以上の未就学児）あり（相談日の1週間前までに要予約）

四葉草 女性弁護士による法律相談

結婚や離婚、相続のことなど、法律のことについて、女性の弁護士が相談に応じます。

問題が整理できずに迷っているときは「こころと生きかたなんでも相談」で気持ちを整理してから、法律相談を利用することもできます。

毎月

第2水曜日 午後1時～4時まで
第3木曜日 午前10時～午後1時まで
第4火曜日 午後4時～7時まで

面接相談（女性のみ）

※毎月1日から予約受付開始



相談時間：1回 50分

場所：男女平等推進プラザ「はばたき21相談室」（生涯学習センター4階）

予約方法：電話で予約【予約専用電話：03-5246-5819】

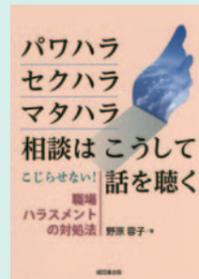
受付時間：午前9時～午後5時まで（日・休館日を除く）

休館日：第1・第3・第5月曜日（祝日の場合は翌平日）・年末年始

はばたき21情報コーナーおすすめ図書案内

情報コーナーでは、男女平等に関する図書や資料の貸出しを行っています。借りるときには、台東区立図書館の利用カードをお持ちください。自由に閲覧できるスペースもあります。

『パワハラ セクハラ マタハラ相談はこうして話を聴く - こじらせない! 職場ハラスメントの対処法』



野原蓉子著 経団連出版

ハラスメントに対する基本的な知識から、相談されたときの初動対応までを、成功例、失敗例、改善例を交えてわかりやすく紹介。

『赤ずきんとオオカミのトラウマ・ケア 自分を愛する力を取り戻す「心理教育」の本』



白川美也子著 アスク・ヒューマン・ケア

トラウマはなぜ苦しみを引き起こす? 赤ずきんとオオカミによる物語仕立てで、トラウマ記憶のしくみ、回復のプロセス、さまざまなアプローチ方法を解説。

『キレル私をやめたい ~ 夫をグーで殴る妻をやめるまで』



田房永子著 竹書房

夫に暴力をふるう度に傷つき、悩んでいた著者が、キレてしまう自分に対して真剣に取り組み、明日からキレなくなる、即戦力のある本を目指したコミックエッセイ。

DV まだ「家庭内の問題」だと思っ

「DV(ドメスティック・バイオレンス)は、配偶者や恋人など親密な関係にある(あった)人からの暴力である」ということはかなり知られてきたものの「家庭内の問題」「個人的な問題」「一部の人の問題」として片づけられてしまいがちです。

しかし、DV 被害者は多くの場合女性であり、その背景には、「男性がリードし、女性は従うもの」「女性の役目は男性を支えること」といった固定的な性別役割分担意識や、男女の経済力の格差、暴力容認の考えなど、DVを後押しする社会の構造があります。



暴力をふるったのは、オレを怒らせるようなことをアイツがしたからだ! こっちが被害者だ!

それは、責任転嫁と暴力の正当化です!

暴力の原因は、夫婦や恋人など親密な関係ならば暴力は許される(あるいは必要である)という考え方にあります。暴力は相手を支配するための手段で、相手の人権を侵害する行為です。どのような関係であっても、暴力をふるってもよい相手はいません。



暴力をふるわれたのは、あなたにも責任があるんじゃない?

暴力を容認しないで!

暴力をふるわれたほうにも原因があるという言葉や態度は、暴力を容認することになり、ますます被害者の孤独感・無力感を深めます。暴力はふるうほうが悪いのです。



暴力をふるわれても別れないのは、それほど嫌ではないからでは?

逃げられないのは、被害者の問題ではなく、社会の問題です。

暴力によって支配され、相手を怒らせないことを優先してきた被害者は、暴力的環境から抜け出し、自立するために必要な力を奪われ続けています。暴力を根絶するためには、一人ひとりが相手も自分も大切に、尊重し合える関係を築いていくことが必要です。

DVで悩んだり、身近な人から相談されたら、一人で悩まずお電話ください。

たいとうパープルほっとダイヤル

TEL 03-3847-3611 予約は不要です

月～土曜日 ※第1・第3・第5月曜日(祝日の場合は翌平日)を除く 午前9時～午後5時

